



発行 今井町並み保存会
発行日 平成22年12月1日
電話 0744-22-1128
http://www.3kcn.ne.jp/~imaicho/
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp
◇ご意見・ご感想は
今井まちづくりセンターまで

第33回全国ゼミ

盛岡大会に思うこと

会長 若林 稔

全国町並みゼミ盛岡大会は11月5日から7日まで岩手県公会堂を中心会場として「暮らしのいきづくと町並み」住民による歴史まちづくり」をテーマに開催。

一日目は開会式に始まり、基調講演、開催地や各地からの報告、その後プロック別会議、歓迎交流会が行われた。

二日目は8つの分科会に分かれ、それぞれ現地見学と討議をセットに町づくり環境づくりの課題を勉強しあい、その後、1時間ほど部門別交流会を開催、夜は夜なべ談義で遅くまで熱心な討議が交わされた。

三日目は全体会議、各分科会の結果報

告、盛岡ゼミの総括と提案がなされ、次回開催地飛騨への大会旗引き渡しで閉会式となった。



私は第26回今井大会から7大会に参加してきたが、最近全国ゼミの傾向に大きな変化が起きていると感じていることがある。

以前は、保存すべき町並みなのに、近代化の名のもとに消えていく文化遺産を後世に残すにはどうしたらいいのか、行政に理解してもらうにはどうしたらいいのか、という事が主な議論材料であったが、最近は大規模な目ぼしい保存地区がなくなったことや、行政との共生で観光、経済主体の町おこしに重きを置いて、保存という名のもとに観光ブームに乗っかってきているところが多く、今井町から見ると議論の軸がぶれ始めているように思えてならない。

それだけに今井町の持っている規模、文化財的価値は群を抜いてダントツに大

きなスケールで、世界遺産の価値が充分備わっており、他の保存地域がなくなっても、今井町だけは保存して行かなければいけないと実感させられるものである。



昭和49年、今井町が発起人になって、妻籠、有松とで町並み保存連盟が発足した歴史的経緯すら忘れられようとしてしまっている連盟に対して、事あることに原点を忘れないようにと進言してきたが、参加者に今井町を知らない人が、多くなっている現実に直面すると、今井町が何年も議論を重ねた末、保存を選択したあの熱い思いを今一度中央に発信し直さなければ忘れられていくなど実感した。

そんな中で毎回作務衣に羽織、下駄履きでの参加は相当な効果があり、名物になってきているのはうれしいことで、これから、主張して行ける今井町並み保存会を見せる参加の仕方を続けていきたい。

いまいの人々は

短歌一首

米田 佐與子(北口町)

一枚の母の刺したる 花布巾

染みがありても 我が宝物

作者より

母は仕立物を生業としていました。忙しい合間に一枚刺子を作ってくれました。汚れ染みがありますが、大事に持っています。

有松・京都町衆 今井訪問

10月28日(木)有松まち普請の会39名が今井町を見学されました。東海道の町並みの景観の保全から、さらに電線を地中化し昔の景観を取り戻すことを目標にされており、今井の電線の地中化に深い関心を示されていました。

10月30日(土)京都祇園から約40名の旦那衆や芸妓さんなどが今井の文化に触れ、保存会の歓迎、接待ぶりにいたく感動、京都でも忘れがちなおもてなしの原点を再確認させていただきました、とお礼を言われて帰られました。

魚崎郷・浮孔小学校来町

21日(日)神戸市魚崎郷より「魚崎郷まちなみ委員会」の方々40名が研修のため今井町を訪れました。

今回はこれからのまちづくりの参考にするために今井町に来ました。

27日(金)大和高田市立浮孔小学校4年生が今井で校外学習、12月7日(火)にゲストティーチャーとして学校に赴き授業の仕上げをする予定です。これら2題については次号で詳しく取り上げます。

留学生 伝統文化体験学習

A F S日本協会奈良支部が受け入れている「21世紀東アジア青少年大交流計画(通称 JENESYSプログラム)」(外務省による事業)で来日する留学生たちに、日本の文化をより深く知ってもらおうと今井町での1日体験のプログラムを組み、東アジアからの留学生17名に日本の伝統文化を体験学習してもらいます。

日時 12月11日(土)9時30分～16時
会場 重要伝統的建造物群保存地区

今井町内各所

体験内容 書道体験 着物体験

大和今井の茶粥体験

お餅つき体験

ホストファミリーの方には今井町を案

内します。地域の人々と交流を深めるとともに、奈良という地域の特殊性・ユニークさを知ってもらえればと思います。

きれいで
スッキリ

ニッコリ笑顔の

今井町を作りましょう。

犬のフンの放置や、狭い道路での駐車・駐車等が目につくようになりました。一人ひとりが少し周囲に配慮すればみんなが気持ち良く快適な町になるはず。お互いに声をかけ合って、活きた重伝建地区・今井を次の世代へつないでいくために…。

昔の方々もそのような心掛けて暮らしてこられ、今があるのだと思います。ちょっととした気づきと行動で町が変わる一歩となるのでは。

いまい往来

12月9日(木)有松まちづくりの会
服部会長来町

12月11日(土)外務省
留学生伝統文化体験学習

12月28日(火)～30(木)
年末警戒・夜回り

12月31日(金)大祓式・除夜祭り